

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

由布市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

大分県由布市

3 地域再生計画の区域

大分県由布市の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状】

由布市は 2005 年 10 月に、挾間町、庄内町、湯布院町の 3 町が合併して誕生した。全国屈指の温泉地として知られ年間約 380 万人の観光客が訪れる観光地でもある由布院温泉を有する湯布院地域、豊かな自然と農村や庄内神楽等の文化的資源を有する庄内地域、県都大分市のベッドタウンであり教育・文化・医療・商業施設等の都市機能が集積する挾間地域は、時代の変遷とともにそれぞれの地域の特色を背景に地域産業が発展してきた。本市の産業別人口は、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業の従業者が突出しており、それに建設業、農林業等が続いている。就業者数は、直近の国勢調査（2015 年）では 16,339 人であり、前回調査（2010 年）は 16,405 人であるため 5 年間で 0.4%減少している。その要因は景気低迷による雇用機会の減少や生産年齢人口の転出超過が原因の一つであると考えられる。また本市の人口も 1985 年の 35,945 人をピークに減少が続いており、直近の国勢調査（2015 年）では、34,262 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、現状のペースでは 2025 年には約 7.7%減少し、なかでも 15 歳以上 65 歳未満の人口である生産年齢人口は同期間に 11.9%減少となる見込みである。

本市の自然動態については、自然減少の状態が現在まで続いている。本市の平均寿命は、男性 80.8 歳、女性 86.7 歳で今後も続く高齢化の進行とともに、出生数も 2009 年の 315 人を最高に、2018 年では 266 名と減少傾向にあり、今後人口の自然減は加速

すると見込まれている。その要因は20歳から29歳の女性人口が著しい減少傾向にあり、出産適齢期の女性人口の減少が大きな要因と考えられる。

本市の社会動態の推移を見ると、2005年までの人口は、自然減を社会増で補っていたが、2006年から2010年まで社会増減は拮抗した状況に変わり、2011年から転出超過の傾向が続いていることで人口減少が進行している。2011年以降の年齢別転入・転出者数は、生産年齢人口の転出超過、特に20歳から39歳の若者の転出超過の傾向が顕著である。その要因は雇用機会の少なさに加え、選択肢が少ない事が原因の1つであると考えられる。

労働力の中核である生産年齢人口の減少が進むと、従業員の確保が難しくなってくる。近年、本市の有効求人倍率は1.72（2018年9月）で、県内でも高水準で推移しており、人手不足、後継者不足、働き方改革への対応等の課題に直面している。

【地域の課題】

本市の人口は上記のとおり、現在ではピーク時の1985年の人口の約9割と減少幅は小さいものの、このまま若者の市外への流出（社会減）による人口減少が進行し且つ自然減が加速した場合は、地域コミュニティの運営が難しくなり、また市内経済の衰退が懸念されている。

若者が希望する魅力ある雇用機会を創出することで若者の市外への流出を抑制し、基幹産業である観光業・農業への波及効果を与え、市内経済の衰退を防止することが、本市の課題である。

【目標】

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標Ⅰ 由布市における安定した雇用を創出する
- ・基本目標Ⅱ 由布市への新しい人の流れをつくる
- ・基本目標Ⅲ 由布市での若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2025年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規雇用創出件数（累計）	24人	60人	基本目標Ⅰ
イ	年間観光客数	442万人	450万人	基本目標Ⅱ
ウ	出生数	266人/年	300人/年	基本目標Ⅲ
エ	地域協議会の設立	1 地区	4地区	基本目標Ⅳ

５ 地域再生を図るために行う事業

５－１ 全体の概要

５－２及び５－３のとおり。

５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【Ａ２００７】

① 事業の名称

由布市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 由布市における安定した雇用を創出する事業

イ 由布市への新しい人の流れをつくる事業

ウ 由布市での若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

② 事業の内容

ア 由布市における安定した雇用を創出する事業

本市の大分県の中央に位置するという福岡県等への交通アクセスの良さを最大限に生かして、農林業、観光業、商工業の支援、また、地場産業

の育成などにも目を向けた施策を展開し、社会経済環境の変化にも対応することができる、持続可能で安定した雇用環境を創出する事業

【具体的な取組】

- ・移住就労者受入促進事業
- ・就農支援事業 等

イ 由布市への新しい人の流れをつくる事業

由布市のブランド力でもある、由布院温泉を核とした持続可能な観光まちづくりと連携した施策を展開し、観光交流者の「滞在時間の延長」や、農家民泊等を推進することによる「週末移住」へとつながる取り組みや、由布市の魅力を発信することによる、交流人口の増加対策や若者・移住者等が定住できるような環境整備を行う事業

【具体的な取組】

- ・観光受入環境基盤整備事業
- ・観光情報発信の確立及び一元化事業 等

ウ 由布市での若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

包括的に相談・助言に応じる利用者支援の充実や、子育てほっとクーポンなどによる子育て支援サービスの周知・利用促進等、子どもを産み育てやすい環境づくりのほか、ワーク・ライフ・バランスの確保等、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えることに資する事業。

【具体的な取組】

- ・子どもの居場所づくり事業
- ・子育てと仕事を両立できる環境づくり事業 等

エ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

安心な暮らしを守るため、地域防災力の強化や利便性の高い公共交通の推進するとともに、さらに健康づくりに取り組みやすい環境整備により健康寿命の延伸を図り、また、地域の連携や、広域化する行政課題に対応するため、大分都市圏での拠点機能の強化や広域連携等の推進を図る事業

【具体的な取組】

- ・ 自主防災組織活性化推進事業
 - ・ 地域防災リーダー（防災士）育成事業 等
- ※なお、詳細は由布市総合戦略～第2期版～のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））
4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安
500, 600 千円（2020 年度～2025 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）
毎年度7月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに由布市公式W E Bサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間
2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで